創立135周年
広い心
学校便り　３３号
令和４年　２月２４日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校 長　松原　伸一

「ぱーんとう」絵本の贈呈式

２月17日（木）の朝、絵本の贈呈式が狩俣小学校の校長室で行われました。島尻パーントゥ購買店を運営する邊土名清志さんが自作の絵本「ぱーんとぅ」１００冊を宮古島市に寄贈。そのうち６冊を狩俣小学校に寄贈していただきました。贈呈式には、新児童会役員の椿さん、空さん、優子さんが児童代表として参加。宮古島市教育委員会からは大城裕子教育長、与那覇周作課長が参加しました。

邊土名さんは、パーントゥの歴史と島尻の方言を後世に伝えるために絵本製作を企画したそうです。「島の多くの子どもたちに読んでもらって、パーントゥがどういう祭りか知ってほしい。」と話し、絵本を児童へ手渡しました。受け取った児童の椿さんは、「私たちのために、ありがとうございます。みんなで大切に絵本を読んで、宮古の重要無形民俗文化財であるパーントゥについて学びたい。」とお礼の言葉を述べていました。

「絵本の中にQRコードがあるから、そこから方言で話している動画を見ることもできるよ。」と邊土名さんから教えていただきました。早速観てみると、絵本の内容に合わせて島尻の方言での優しい語り口が・・・

宮古島の未来、子どもたちを思う先輩方の姿、とても素敵ですね。有り難いことですね。
邊土名 清志さん、素敵な絵本を寄贈していただき、本当にありがとうございます。

自己ベストタイム目指して、最後まで走り抜いた持久走大会

２月22日（火）１３：３０から持久走大会が実施されました。全児童、体育の学習で毎時間自分のめあてを持ちながら、走るフォームや走るペース、自己新記録を意識して頑張ってきました。

走る前はとても緊張していた子どもたち。スタートラインに立った表情は「よし、やるぞ！！」というやる気に満ちていました。

保護者、家族の皆さんの温かい応援を受けながら、歯を食いしばって一生懸命走る姿、最後まで諦めずに走り抜く姿はとても格好良かったです。全員完走することができました。よくがんばりました。

保護者の皆さん、子どもたちへの応援ありがとうございました。また、お忙しい中、学力向上推進発表、学級懇談会へのご参加、本当にありがとうございました。